

第31回

全道医家囲碁大会

名人戦は樋口6段が4連覇(通算10度目)！
本因坊戦Aクラスは佐々木5段が初優勝！
Bクラスは田口4段が初優勝！

第31回大会を終えて

全道医家囲碁連盟常任幹事

南田 英俊

1年間の御無沙汰でございました。今回も医師会の囲碁愛好家が集まり、平成16年10月30日、恒例の女流アマとの交流ペア碁が北海道医師会館9Fで、翌日の31日は札幌市医師会館で名人戦、本因坊戦A・Bの3クラスに分かれての熱戦が繰り広げられました。

ペア碁は男女一組12チームで対戦。同じチームの男女が替わりばんこに石を置きます。相手チームの思考を読むのと味方の思考も読まねばならず、また格別の楽しさがあります。プロの世界でもなかなかのブームだそうで次回も楽しみにされている先生がたの多いのも無理なからん事のように。実に楽しい碁会ですので、会員の皆さん次



武宮9段と私

回も是非ご参加ください。

翌日は本大会で、名人戦12名、本因坊戦A11名、本因坊戦B11名、上村収蔵先生の指導碁2名の参加で激闘が繰り広げられました。

名人戦では高橋成夫先生が十勝の新鋭・杉目先生に苦杯を喫し、恵庭の鬼・岡村先生は連覇に燃える樋口先生に屈しました。結果的には今回も樋口先生の優勝記を読むこととなりましたが、次回に期待しましょう、皆さん。

本因坊戦も熱戦でした。Aクラスは佐々木孝雄5段、Bクラスは田口善作4段の優勝、本当におめでとうございます。佐々木先生、来年はいよいよ名人戦登場かと思います。存分にご活躍下さい。



前夜祭風景



大会風景

本大会における参加者数が、ここ何年か若干少なくなってきたような気がします。

次回の参加者倍増を目指して、今から活動していきたいと思っています。

囲碁の大好きな諸先生方、近間の碁仇お誘い合わせの上ジャンジャンご参加ください。

今年は事務局の方々が嬉しい悲鳴をあげるような年にしたいものです。

医家名人戦優勝記

札幌市医師会

樋口 晶文



去る16年10月31日に開催された第31回全道医家囲碁大会名人戦に優勝できて嬉しく感動しております。4連覇、10回目の優勝とよくこんなに勝てたなぁと自分自身驚いています。今までいろんな囲碁大会に参加してきましたが、やはり全道医家囲碁連盟の大会は、最も力が入る大会です。いつも、連盟の会長はじめ多くの役員の方々の暖かい大会運営の中で、楽しくも緊張してやってきましたことを厚く感謝いたします。

今大会は、1回戦で名寄の滝本昌俊先生と当たりました。滝本先生は、安定した粘り強い棋風で、実は本大会で私は2回だけ負けて、優勝を逃しておりますが、その2回とも滝本先生でそのまま優勝されております。最強の相手と考え、慎重に戦いました。中盤、大模様を作った黒（滝本先生）の中に突進した時は必死でした。その競り合いの中、やや緩手の出た黒の追撃を振り切って、幸運を得ました。

2回戦は、大ベテランの前川隆先生と当たりました。前川先生は、全道は勿論ですが、札幌市医師会の大会にも殆ど参加され、北海道の医師囲碁界の中心人物として大活躍されてきました。棋風は、大会になると気合があふれ、特に勝負強い印

文責のポートレートは、右が私で左は武宮正樹先生。武宮9段の似顔絵Tシャツに自筆のサインをしてもらったついでに、一緒に写真に収まってもらいました。（平成16年11月28日のイベントでした。）

くだけた大会総括報告になりました事をお詫び申し上げます。

象を持っています。黒番の先生は、じっくりと打たれ、中盤、地合いは黒が多そうでしたが、私の勝負手に間違われ、白の勝利になりました。前川先生の残念譜です。

なお、前川先生は、秋の叙勲で国立療養所西札幌病院長時代のご功績により、瑞宝中綬章の栄誉を受けられましたことを付け加えさせていただきます。とても素晴らしいこととお喜び申し上げます。

3回戦は、恵庭の岡村廉晴先生と当たりました。ここを突破すると優勝が見えてくる大事な戦いです。岡村先生とは初めての対戦でした。最初の星の定石で僅かにリードした私（白）は、中盤、黒の大反撃を受けましたが、白もゆるまないで必死に戦いました。途中、危ない場面もありましたが、何とか前半のリードを守り逃げ切りました。正直、最も気合いが入った大変な一局でした。岡村先生の力の強いには感心しました。これからの強敵になると思いました。

4回戦は、新得の杉目正尚先生と当たりました。杉目先生は毎年遠くから駆けつけ、いつも好成绩を上げられています。定石に明るく、筋の良い碁です。最初から戦いになり、中盤でポイントを上げた私は、そのまま逃げ切って幸運でした。杉目先生は4回目の対戦で少し疲れていたと思いました。嬉しい優勝を決めることができました。

これからも呆け防止を兼ねて、囲碁を勉強していくつもりです。皆様今後ともよろしく願いたします。いつもながら大会を何から何までサポートしていただいている北海道医師会の皆様、医家囲碁連盟の三宅直樹会長、若浜三郎副会長はじめ役員の方々、上村収蔵地方棋士に深謝いたします。

二転三転の記

札幌市医師会

佐々木孝雄



私のこの大会への参加は4回目を数える。4年前の平成13年春に、札幌市医師会囲碁クラブに入会したのが切っ掛けであった。このクラブは毎月1回の例会があり、10段格の高橋成夫先生、樋口晶文先生等を筆頭として、8・7段格の先生が10名も居られる強豪のクラブである。初年、2年目の時点では、これ等高段位の先生方の対局を当然ながら後方から拝見するばかりであった。そのうちに3～5目の置き碁でぼつぼつ対局させていただけるようになり、私の囲碁も多少それらしくなったように思う。

この大会の参加についても、初めのうちは緊張のしっぱなしで、恥ずかしい碁だけは打ちたくないとそれだけであった。今回の4回目ともなれば、顔見知りの先生、例年出場される先生方も居られて、お陰で少しはリラックスしながら対局できたと思う。勿論優勝などとは夢のまた夢の心境であった。

第1局は胆振西部医師会の鈴木英軍先生（5段）、第2局は恵庭市医師会の石川順一先生（5段）、第3局は旭川市医師会の勝木山川先生（5段）であったが、いずれも握っての私の白番。3局とも二転三転であったが、いずれも終盤で先生方の見落としがあって中押しの勝ちで終わった。

特に3局目の勝木先生は、体調不良の中での1・2戦を安定して勝ち上がった対戦者であり、案の定、実戦では立ち上がりで私の石が10目ほど丸取りにされ、一気に劣勢に追い込まれた。幸いにも盤面全局を見渡すことで気分の転換をはかることが出来、中盤において勝木先生の小さなミスがあり、次第に劣勢を持ち直すことが出来た。終盤は当方の棋勢が勝って大石が死に、勝ちを拾わ

せていただいた次第であった。戦跡を振り返るに、やはり本番意識が潜在的にせよあったせい、気分にならずにあって未確認なるままの一着、二着が散在し、早とちりや思い込みの着手もあったが、結果としてたまたま大痛手を被るまでに至らなかったことが、勝ちにつながったものであろう。不本意ながら当日の運・不運がもたらした結果と言わざるを得ない。

第4局は医家囲碁連盟会長の三宅直樹先生（4段）であったが、先生の堅実で筋を得た石運びに全局圧倒され、完敗であった。3勝1敗で同率が何名か居られたが、獲得点数制によって優勝の榮に浴したことも、幸運であった。

対局に際しては安定した心理状態の維持、冷静な思考過程が必須・不可欠の条件であることを改めて思い、反省した次第である。対局者の諸先生に感謝申し上げる。

本因坊戦B組優勝記

札幌市医師会

田口 善作



第29期名人戦は依田紀基名人に挑戦者の張栩本因坊が現在、挑戦中であるが、平成16年10月13日、14日に札幌グランドホテルで第4局が行われ、その前夜祭に幸運にも知人招待券をいただき、私も出席することができました。会場には、日本棋院より工藤紀夫9段をはじめ、武宮正樹9段、王銘琬9段、大矢浩一9段、M・レドモンド9段など多数の棋士が参加し、200人ほど集まった会場は盛況でした（写真）。その機会に、私は張栩本因坊にサインをお願いしたところ、快く応じていただき、詰め碁入りのサインを頂戴した。このサインのご利益で私も、今回、本因坊戦B組で優勝することができ、非常に嬉しく思っております。

さて、大会を振り返ってみると、4局とも、薄氷の思いで、試合が進み、ちょっとしたツキも幸いし、勝つことができました。

第1局目は、安田耕一郎4段（札幌市）との互い戦で、私の先で、中盤まで互角の争いでしたが、白の勢力を分断することができ、一眼とし、中押しで勝ちました。

次の第2局は、越田吉一4段（札幌市）では、同じく握りで、私の白で、中盤まで黒の一角を囲み、やや優位に立ったところ、その上辺で逆に、白の集団が連絡を絶たれ、劣勢になったが、黒にも弱点があり、それを追求し、捉えて、再度の逆転で勝利を収めました。対局後に、その部分だけ並べ直したのですが、一路の違いで黒の活きがあることがわかり、白の私には幸いました。

第3局は、中野修4段（札幌市）との握りで、私の先で始まり、中盤まで互角の争いでした。しかし、中央での折衝で、白に断点が生じ、そこから薄みが広がり、大石を仕留めることができました。

第4局は、仲俊之3段（旭川市）との最終戦でしたが、最初から終盤まで、穏やかな進行で、わずかなりードを保ったまま、数える対局となり、勝利を得ました。

今大会では、途中で、何度もヒヤリとなりましたが、冷静に判断し石を運ぶことができたのは、日頃から多くの対局をしてきた成果とっております。今後は、念願の本因坊戦A組での優勝と次は名人戦への参加を目指して行きたいと思っております。



第31回大会成績表（敬称略）

【名人戦】

順位	氏名	得点
優勝	樋口晶文	34
準優勝	岡村廉晴	26
第1位	高橋成夫	25
第2位	富樫久夫	24
第3位	杉目正尚	19

【本因坊戦Aクラス】

順位	氏名	得点
優勝	佐々木孝雄	27
準優勝	勝木山川	26
第1位	三宅直樹	26
第2位	石川順一	25
第3位	藤田信一	18

【本因坊戦Bクラス】

順位	氏名	得点
優勝	田口善作	34
準優勝	山本哲三	26
第1位	安田耕一郎	24
第2位	中野修	19
第3位	越田吉一	18